

令和6年度 図書館・郷土資料館 重点施策

■ 図書館

市民の学習ニーズが多様化・専門化してきているなか、生涯にわたる読書活動や学習活動を支援する施設として、図書館は機能を少しずつ変化させながら、その役割を果たしていきます。また、読書活動の推進に関係する機関・団体と連携しながら「第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画」を推進するとともに、読書奨励事業の充実と読書環境の整備に努めます。

令和6年度は幅広く市民の意見をお聞きしながら今後の図書館のあり方を協議し、「新図書館整備基本構想」の策定を進めます。

1. 図書館サービスの充実と市民の読書活動の推進

- (1) 本館・分館の連携による図書館サービスの充実
- (2) 移動図書館「やまびこ号」の運行
- (3) レファレンスサービスの充実
- (4) ホームページの充実による図書館情報の発信
- (5) ボランティア団体の育成と協働事業の実施
- (6) 市民の学習ニーズ等に応える図書資料の収集・充実
- (7) 市民の読書活動推進事業の実施
- (8) 施設、サークル等への団体貸出の実施
- (9) 郷土出身作家コーナーの充実

2. 子どもの読書活動の推進

- (1) 第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画の推進
- (2) 子ども読書活動推進事業の実施
- (3) 学校との連携による子ども読書活動の推進
- (4) 7か月健康相談時でのブックスタート事業への協力
- (5) 保育園、幼稚園、その他子どもの各読書活動推進団体との連携・協力
- (6) 子どもの読書活動に対する理解啓発と情報発信

3. 図書館本館のあり方検討と良好な施設環境の整備

- (1) 新図書館本館整備基本構想の策定
- (2) 読書環境充実のための施設整備
- (3) 郷土資料の適切な保存のための収蔵庫確保

■ 郷土資料館

郷土資料館は、地元だけでなく、全国からの調査・研究のために、多くの方が来館しており、当地方の歴史研究の拠点として大きな役割を果たしています。

今後も、所蔵資料の整理を進めるとともに、市民の方々等が保管している史料の調査を継続実施する中で、貴重な資料が散逸・滅失しないよう情報収集に努め、地域に根ざした資料館づくりに努めます。また、定期的に企画展示、歴史講演会、各種講座を開催し、郷土の歴史を多くの方々に知っていただけるような機会を提供していきます。

1. 郷土史の調査・研究のための史料の収集と整理・活用

- (1) 古文書等郷土資料の調査、収集と整理、活用及び公開
- (2) 郷土出版物、庁内出版物及び郷土出身者の著書の重点収集と整理
- (3) 郷土資料散逸防止の啓発

2. 地域の情報拠点としての事業の推進

- (1) 郷土に関する各種相談への対応と史料提供
- (2) 企画展示等による市民への資料公開
- (3) 各種広報媒体等を活用した郷土資料館の周知
- (4) 歴史講演会等を通じた新たな研究成果の提供

3. 所蔵史料の利用促進

- (1) 所蔵史料のデータベース化
- (2) 所蔵資料の資料目録発行に向けた整理・調査の継続
- (3) 所蔵資料のデジタル化
- (4) 諸家文書目録の利用促進

4. 郷土理解の推進と地域文化の振興

- (1) 古文書解読及び郷土史関連の講座の開催
- (2) 庄内歴史懇談会、温故の会等、郷土史関係団体への協力と連携

